

報告事項 1

令和 3 年度事業計画について

令和 3 年度事業計画について、一般社団法人しまね地域医療支援センター定款第 40 条第 1 項の規定により、次のとおり提案する。

I. 事業計画策定に当たっての基本的な考え方

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、県外の地域枠等医師との面談や各種研修会・説明会の実施をWEBに切り替えて行うとともに、リアル（対面、集合）での実施が不可避な事業については、やむなく中止するなど、当初予定と異なる難しい事業運営を強いられた 1 年であった。

一方、WEBでの実施は、移動時間がなくなり、会議、研修会により参加しやすくなるなど、事業の効率化を図る上で、メリットもあった。

また、指導医講習会を全国で初めてフルWEBで実施するなど、WEB活用のノウハウ取得が大きく進んだことなどの成果もあった。

令和 3 年度は、依然、新型コロナウイルス感染症の状況、影響等は不透明ではあるが、WEBの有効活用も図りながら、より効果的・効率的な事業実施に努めていく。

医師のキャリア形成支援について、令和 2 年度は、支援センターに登録しているほとんどの医師との面談又は医局訪問を実施できた。令和 3 年度も、全ての登録医師とWEBと対面を使い分けながらタイムリーな面談ができるように取組みを進める。

一方、地域枠等の医師数が徐々に多くなりつつあることや、地域の医師充足状況も変化しつつあることなどから、へき地等での義務履行が難しいケースが生じることも想定され、今後は、専任医師とともによりきめ細かな助言、フォロー、調整等の支援や地域の医療情報の提供等を行う。

また、上記状況を踏まえ、大学生時から、キャリア形成プログラムや地域の医療情報などの提供を積極的に行うとともに、学生と支援センターの関係づくりの強化を進めていく。

研修体制支援については、新型コロナウイルス感染症防止のため、令和 2 年度に実施できなかったしまね屋根瓦塾や指導医ブラッシュアップセミナーなどを、コロナの感染状況次第ではあるができる限り実施し、より手厚く重層的な研修支援環境を構築する。

情報発信について、令和 2 年度は、説明会等をWEB実施に切り替えたため、手探りの状況であった。

令和 3 年度については、WEBとリアル（対面、集合）を有効に使い分けながら、医療現場に行きにくい状況にある学生等への有効な情報提供を図るため、病院見学バスツアーや研修病院の紹介動画の作成などの新規事業に取り組む。

また、学生等と支援センターのつながりを構築するため、LINEを活用した情報発信にも取り組んでいく。

令和2年度は、関係機関との関係を強固にするため、12の市町村、関係病院を直接訪問、また、年4回の臨床研修病院との連絡会を開催し、有効な情報共有や意見交換ができたが、令和3年度においても、引き続き、訪問や連絡会をタイムリーに実施し、連携を強化し、“若手医師に対するオールしあねでの支援体制の構築”をさらに進めていく。

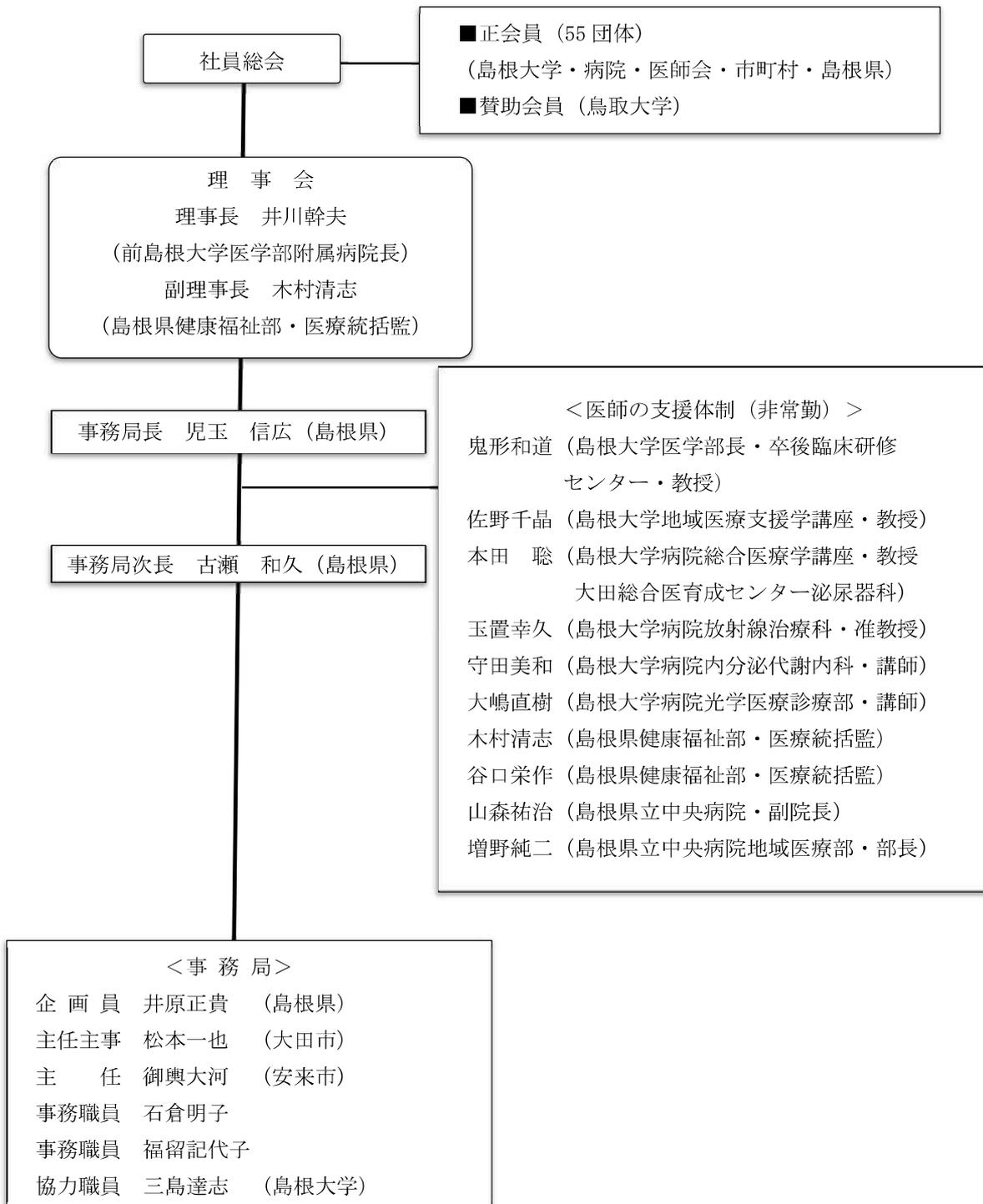
＜重点的な取組み＞

- 1 地域枠等医師（医局含む）とのよりきめ細かな面談、フォロー、情報提供の実施
- 2 学生への情報提供、つながりの強化
- 3 大学、関係医療機関、市町村との連携強化
- 4 新型コロナウイルス感染症防止対策をしつつ、効果的かつ着実な事業実施

Ⅱ. 推進体制

(令和3年5月1日現在)

【令和3年度】



Ⅲ. 事業計画

1. 医師のキャリア形成支援事業 (3,380 千円)

しまねの地域医療に貢献する志を持った若手医師が県内で安心して研修・勤務できるようキャリア形成を支援する。

(1) 医師面談・医療機関調整事業

地域枠等医師や医学部6年生等に「キャリア形成プログラム」や「キャリア形成支援基本方針」の周知を図りながら面談を行い、個々のキャリアプランの作成を支援する。

令和3年度対象者見込：215名

令和2年度面談実績：対象者213名中209名

- ・令和3年度は、地域枠等医師が新たに24名誕生した。
- ・地域枠等医師が、円滑な県内勤務義務の履行とキャリアアップの両立を図られるよう、きめ細かな面談や関係機関との調整等を行い、確実なキャリアプランの作成を支援する。
- ・所属する大学医局や病院に対しては、直接訪問等を行いながら、地域枠等医師の確実な県内・へき地勤務の履行、地域の医療状況に応じた人事、派遣をお願いする。
- ・地域枠等医師が勤務する病院に対し、義務履行とキャリア形成に配慮した支援をお願いする文書を送付する。

(2) 地域枠等学生へのキャリア形成プログラムの周知

- ・地域枠等（島根大学医学部地域枠、緊急医師確保対策枠、県内定着枠、学土地域枠、鳥取大学医学部島根県枠、県奨学金貸与）の大学5年生を対象に、キャリア形成プログラムの説明会を開催し、臨床研修マッチングを行う前に、同プログラムに基づき県内勤務義務の履行とキャリア形成を両立した確実性の高い将来計画を立てることができるように支援する。
- ・地域枠等の大学1年生を対象に、キャリア形成に関する支援セミナーを開催する。

2. 充実した研修体制支援事業 (40,301 千円)

研修体制の充実を図るため、大学、臨床研修病院、その他の病院、診療所等が連携して行う若手医師育成の取組を支援するとともに、しまねでの研修の魅力アップを図る。

(1) 若手医師等研修支援事業 (9,214 千円)

①しまね臨床研修医合同研修会

臨床研修医の医師、社会人としての意識の向上やスキルアップ、ネットワークづくり等を進めるための合同研修会を開催

②しまね屋根瓦塾

病院の垣根を越えて、先輩医師が若手医師に実技指導をする研修会を開催、実践的な知識を学ぶとともに、若手医師同士の刺激、交流の促進も図る。

③臨床研修環境充実支援事業

研修環境の充実を図るため、臨床研修病院が連携して行う取組を支援

ア 臨床研修病院連絡会

県全体の臨床研修の充実を図るため、臨床研修病院の担当医師、事務担当者が意見交換を行う連絡会を開催

イ 基本的臨床能力評価試験

県内の臨床研修医の研修目標到達度を客観的に評価し、各病院の研修プログラムの改善や充実に活かすため、日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP）が実施する「基本的臨床能力評価試験」受験を支援（助成）

ウ 若手医師自主企画応援助成

しまねで頑張る若手医師（概ね40歳まで）の自主的・先駆的な活動の経費を助成し、若手医師のスキルアップや横断的なネットワークを構築

（2）指導医等研修支援事業（18,156千円）

①指導医講習会

厚生労働省の定める「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を開催し、県内の臨床研修指導医の養成及び確保を図る。

令和3年度は2回開催

- ・第1回：令和3年9月 WEB又は島根大学医学部附属病院ゼブラ棟
- ・第2回：令和4年2月 WEB又は島根大学医学部附属病院ゼブラ棟

②研修・指導体制魅力化事業

県内各病院の研修・指導体制の向上を目的とした取組を支援（助成）し、各病院の魅力化を図り、若手医師の県内定着に繋げる。

③指導医ブラッシュアップ研修

臨床研修医をはじめとした若手医師の育成において、重要な役割を担う指導医の指導スキルやモチベーションの向上を図り、病院や診療科での若手医師育成の中核となる人材を養成するための研修会を開催する。

（3）研修ネットワーク支援事業（12,931千円）

県内で総合診療専門医や精神科医等の育成のための県内ネットワークを構築し、研修体制の充実・支援を行う。

①総合診療専門医育成ネットワーク事業（島根大学地域医療支援学講座に委託）

- ・各医療機関間のネットワークづくり
- ・総合診療専門医育成のためのプログラム作成・指導体制の整備支援
- ・医療機関・医師会・行政等と連携した総合診療専門医についての普及啓発

②精神科医キャリアアップ支援ネットワーク事業

- ・精神科医キャリアアップ研修会等の開催
- ・短期研修参加経費の助成
- ・情報発信 等

③産婦人科医師育成ネットワーク事業（島根大学産婦人科講座に委託）

- ・産婦人科研修会の開催
- ・産婦人科研修、研究体制の充実

3. 研修医確保に向けた情報発信事業（20,823千円）

島根大学医学部や島根県出身等で県外の大学に在籍している学生や臨床研修医等に対して、多様な媒体を活用して、島根県の研修プログラムの魅力や若手医師の応援体制等をPRする。

（1）県内病院合同説明会等開催事業（9,870千円）

①臨床研修病院合同説明会の開催

島根大学医学生や県外の医学生を対象に、県内の臨床研修病院が一堂に会して臨床研修プログラムや指導体制をPRする合同説明会を開催

- ・令和3年6月10日（木） オンライン説明会
- ・令和4年2月14日（月） オンライン説明会（予定）

②専門研修病院合同説明会の開催

臨床研修医に向けて「しまね専門研修プログラム説明会」を開催

- ・令和3年7月19日（月） オンライン説明会
- ・令和3年10月25日（月） オンライン説明会（予定）

③病院見学旅費支援

県外からの臨床研修医、専攻医を増やすため、県外の医学生や医師が県内病院を見学する際の旅費を支援(助成)

- ・医学生を対象（臨床研修医の確保）
- ・臨床研修医を対象（専攻医の確保）

④中学生・高校生の医療現場体験セミナーの開催

将来の医療人材の確保に繋げるため、医療に興味のある中学生、高校生を対象に、しまねの医療現場を体験してもらうセミナーを開催

⑤病院見学バスツアー【新規】

県内の医学生を中心に地域での人々の暮らしや研修病院が立地する地域を知ってもらうことを目的とした日帰りバスツアーを実施

⑥キャリア形成相談会【新規】

学生が多く参加するイベントに参加し、当センターの事業をPRするとともに、専任医師によるキャリア形成相談会を実施

(2) 多様なメディアを活用した情報発信事業 (10,953千円)

島根県の研修プログラムの魅力や若手医師の応援体制等を、多様な媒体を利用して広くPRする。

- ①フェイスブックやホームページにより、センターや大学、病院等の取り組みを小まめに発信
- ②LINEを活用した定期情報発信【新規】
- ③島根県臨床研修指定病院ガイドブックの発行
- ④支援センターマガジンの発行
- ⑤オリジナルグッズの制作
- ⑥臨床研修病院等の紹介動画の作成【新規】

4. ワークライフバランスの推進 (7,538千円)

出産、育児、介護等による医師の離職防止、復職支援等の推進を図ることを目的に、県内ネットワークの構築、医療機関等の相談・支援体制の構築を図り、仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境を整備し、女性医師等のキャリアサポートを推進する（島根大学地域医療支援学講座に委託）。

(1) ワークライフバランス復職支援体制強化事業 (5,103千円)

①相談窓口の設置

出産、育児後の女性医師等が安心して職場復帰できるための「えんネット」相談窓口設置

②復職支援プログラム作成支援

オーダーメイド型の復職支援プログラムにより、復職のために必要なサポートを実施

(2) サポート体制充実事業 (2,435千円)

①情報収集・情報発信

育児や介護、地域の子育て情報など、復職に対し必要な情報を発信

②女性医師等ネットワーク形成

仕事に復帰したいと考えている女性医師等を対象にした情報交換やネットワークづくりや復職支援の企画等の意見を聞く場としてランチミーティング等を開催

③研修会託児等支援

5. 関係機関との連携体制の構築 (1,346千円)

若手医師が研修しやすい、勤務しやすい環境整備に向けた県内の支援体制の構築に向け、専任医師や大学、病院、県、市町村等との連携体制を強化するための定例会、連絡会等を開催する。

①トップセミナーの開催

県内の病院長や地方自治体のトップを対象に、医師確保や地域医療の充実、医師のキャリア支援等をテーマとしたセミナーを開催

・開催時期：令和3年10月頃（予定）

・会場：出雲市内（WEB）

②センター定例会の開催

・開催日：毎週1回

・参加者：支援センター専任医師、事務局職員等

・内容：センター事業の企画・立案、事業実施状況の報告、検証、課題等の意見交換

③3者会議

・開催時期：毎月1回

・会場：島根大学医学部附属病院 みらい棟会議室

・参加者：島根県、島根大学医学部地域医療支援学講座、支援センター

④圏域別市町村・医療機関への情報提供、連携の強化

支援センター職員が関係病院や市町村を直接訪問し、情報提供や地域課題の共有等を図りながら、より一体的な取組を推進

⑤島根大学医学部附属病院各診療科並びに医学部関係講座との連絡協議会

支援センターの取組状況の報告や地域医療の状況、課題等に関する意見交換を行うため、月1回、大学医学部附属病院各診療科、講座との連絡協議会を開催

6. 医師不足状況等の把握・分析 (46千円)

県内の地域医療に資する調査・研究事業を推進し、医療状況の把握・分析を行う。

・地域枠等医師の動向、派遣・配置状況

・臨床研修医の動向調査、研修状況

・県調査、国調査に基づく県内医療資源の分析 等